

## 第66回日本公衆衛生学会総会（愛媛）へのお誘い

第66回日本公衆衛生学会総会会長  
愛媛大学大学院医学系研究科教授  
小西正光

2007年の新春を迎え、日本公衆衛生学会会員の皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年、富山で開催されました第65回学会総会におきまして、次期総会を愛媛県松山市で開催することになり、その学会長にご指名をいただき、大変光栄に存じております。

愛媛県で開催するのは今回が初めてですが、関係者一同大変張り切って準備をすすめており、愛媛県民がこぞって皆様方のご来県をお待ちしております。2007年10月24日から開催の第66回日本公衆衛生学会総会に是非、多数の方々にご参加くださいますようお願い申し上げます。

第66回総会のメインテーマは、「地域保健—その原点に返り未来を展望する—」といたしました。

最近、医療制度改革をはじめ、障害者自立支援法、介護保険法などの制度の見直しが行われており、地域保健福祉を取り巻く状況が大きく変わろうとしています。一方では「大きな政府から小さな政府へ」「中央から地方へ」「官から民へ」といった地方分権の流れがあり、市町村合併が強力にすすめられ、地域社会そのものが大きく変化しつつあります。そのような中で、近年特に自己責任、自己管理が強調され、リスクの社会化から個人化への転換が図られようとしており、個の時代ともいわれるようになりました。しかし、地域における住民の連帯感が薄れ、コミュニティの崩壊が叫ばれているなかで、個に責任を負わせることが本当にどこまでできるのか？個人を支える社会環境整備は十分なのか？公衆衛生の現場で従事されている方々の中には、このような疑問を持っておられる方が多いのではないのでしょうか。

今回の学会ではこの地域保健を中心として、地域の現場でいったい何がおこっているのか、そしてこれまで実践してきた活動を振り返った上で、これからどうすれば良いのかを考えていきたいと思っています。

愛媛県は四国88箇所のお遍路の国で、この長い歴史のなかで育った「おせったいのこころ」は public health mind、公衆衛生活動の原点ではないかと思えます。みんなで助け合おうという共助の精神により、地域力、住民力の向上、地域の再生をしていくことがこれからの公衆衛生活動を推進していく上でもっとも重要なことだと思い、地域の第一線で活躍している公衆衛生従事者及び地域住民を中心とした学会にしたいと考えております。

今回、特別講演として早坂暁氏、および辰野和男氏をお願いいたしました。この他メインシンポジウム、サテライトシンポジウム、教育講演、公衆衛生行政研修などの企画を考えております。会員の皆様から、シンポジウムや教育講演などのテーマについてご意見やご要望などございましたらぜひ事務局までご連絡ください。

なお、今回の総会では一般演題についても、できるだけ多くの方々に議論していただきたいと考え、口演数を増やすとともに、示説についても座長制を導入する予定です。

最後になりましたが、学会総会の主会場である愛媛県民文化会館は松山市の中心部にあり、その周辺には松山城、道後温泉があり、また弘法大師、一遍上人ゆかりのお寺も多数ございます。

多くの会員の皆様に参加していただきますようお願い申し上げます。

## 第66回日本公衆衛生学会総会（愛媛）ご案内（第1報）

### 1. 期 日

平成19年（2007年）10月24日（水）から26日（金）

### 2. 会 場

愛媛県県民文化会館（愛媛県松山市道後町2丁目5番1号）

愛媛県総合社会福祉会館（愛媛県松山市持田町3丁目8番15号）

愛媛看護研修センター（愛媛県松山市道後町2丁目11の14）

### 3. 学会長・副学会長・顧問

名誉学会長：愛媛県知事

名 誉 顧 問：松山市長

学 会 長：小西正光（愛媛大学大学院医学系研究科教授）

副 学 会 長：久野悟郎（愛媛県医師会長）

濱上邦子（愛媛県保健福祉部長）

武智喜代徳（松山市保健福祉部長）

### 4. 第66回日本公衆衛生学会総会事務局

総括事務局（愛媛県保健福祉部健康衛生局健康増進課健康政策係）

学術部会事務局（愛媛大学大学院医学系研究科公衆衛生・健康医学教室）

運営事務局（株式会社イー・シー）

### 5. プログラム（予定）

総会テーマ：地域保健—その原点に返り未来を展望する—

• 学会長講演：小西 正光（愛媛大学大学院医学系研究科公衆衛生・健康医学分野教授）

• 特別講演1：早坂 暁（脚本家，作家）

特別講演2：辰濃 和男（日本エッセイスト・クラブ理事長，元朝日新聞論説委員）

• 総会，奨励賞表彰，シンポジウム，教育講演，公衆衛生行政研修フォーラム，奨励賞受賞者講演，一般演題（口演及び示説），自由集会，等

### 6. 一般演題，自由集会申し込み

平成19年3月13日（火）～6月5日（火）

### 7. 今後の情報

日本公衆衛生雑誌第54巻2号，および3号

学会ホームページ：<http://www.ec-japan.jp/66jsph>